

# 日医ニュース

2019. 12. 5 No. 1398

**日本医師会**  
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
http://www.med.or.jp/

発行所

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



**トピックス**

- 横倉会長、加藤厚労大臣に要望書提出 …… 2面
- 令和元年秋の叙勲・褒章受賞者 …… 6面
- 日医公式グッズ …… 8面

同検討会議は、少子高齢化と同時にライフスタイルが多様となる中で、誰もが安心できる社会保障制度に関わる検討を行うために設置されたもので、議長は安倍晋三内閣総理大臣が務めている。今回のヒアリングには、医療界から、横倉会長、堀憲郎日本歯科医師会会長、山本信夫日本薬剤師会会長が出席した。医療界を代表して意見を述べた横倉会長は、まず、三師会で取りまとめた合同提言(別掲)として、三つの事項(①人生



横倉義武会長は11月8日、総理官邸で開催された政府の「全世代型社会保障検討会議」のヒアリングに招かれ、全世代型社会保障に関する日医の考えを説明した。

100年時代の患者・国民の安心につながる丁寧な議論②疾病予防、健康づくりの推進③国民皆保険の理念の堅持)を求め、これを踏まえて、患者に負担を求め、野については、人生100年時代の患者・国民の安心につながる丁寧な議論を行うとともに、短い期間に拙速に結論を出すことのないようお願いしたい」と述べた。

**受診時定額負担導入に明確に反対姿勢を示す**

また、「大きなリスクは共助、小さなリスクは自助」と説明した。

自助」という議論があることについては、「公的医療保険には既に、小さなリスクは『定率負担』をお願いし、大きなリスクは『高額療養費』で対応する」という基本的な考え方が組み込まれている」と指摘。特に受診時定額負担

## 横倉会長 全世代型社会保障検討会議で 医療界を代表して日医の考えを説明

(1)では、社会保障改革の主眼が「国による医療・介護に対する支出の抑制」になり、結果として医療の質の低下を及ぼすようでは、以前、後期高齢者医療制度導入の際に見られたように、国民の理解は得られないと断言。「健康寿命を延伸することにより、支え手も増やせるだけでなく、74歳まで社会参加でき、働くことができるようになるれば、この先もこれま

(2)に関しては、①国民に対し、医療のかかり方について社会保障や健康に関する教育・啓発などを行って、意識改革を促すことも大切である②わが国には地域密着型の中小病院や有床診療所があり、かかりつけ医機能と入院機能を持ち、地域

また(3)については、社会保障と経済は相互作用の関係にあると述べた上で、「患者負担を増やすことばかりでなく、社会保険は自助・共助・公助で成り立っていることを踏まえ、それぞれのバランスを取りながら、時代に対応できる給付と負担のあり方という視点に立って議論することも重要である」と指摘。具体的改革案として、共助に関

その後に行われた委員との質疑応答の中で、大病院を受診した場合の選定療養と受診時定額負担の関係を問われた横倉会長は、「選定療養は療養の給付と直接関係ない。メニューに課す負担で、必ずしも大病院に掛かる必要のない患者に対して、フリーアクセスの乱用を防ぐためのものであるが、受診時定額負担は医療のアクセスを制限し、受診抑制を招くものである」と指摘。また、負担能力のある高齢者に、負担を求めることに

### 全世代型社会保障改革への期待

～日本で暮らして良かった、日本で暮らして幸福だったという「全世代型社会保障制度」へ～

令和元年11月8日 全世代型社会保障検討会議  
公益社団法人 日本医師会  
公益社団法人 日本歯科医師会  
公益社団法人 日本薬剤師会

- 人生100年時代の患者・国民の安心につながる丁寧な議論を  
医療全体のあるべき姿、ビジョンを国民に示していくことが安心につながる。
- 疾病予防、健康づくりの推進～健康寿命の延伸とそれによる支え手の増加～  
人生100年時代の安心の基盤は健康であり、生涯を通じ健やかに過ごすためには予防が重要。
- 国民皆保険の理念の堅持  
国民皆保険の理念に沿った改革こそが国民の安心につながる。

域包括ケアシステムの一角を担っていること等を説明。地域の住民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、三師会が力を合わせて進めていくとした。

また(3)については、社会保障と経済は相互作用の関係にあると述べた上で、「患者負担を増やすことばかりでなく、社会保険は自助・共助・公助で成り立っていることを踏まえ、それぞれのバランスを取りながら、時代に対応できる給付と負担のあり方という視点に立って議論することも重要である」と指摘。具体的改革案として、共助に関

その後に行われた委員との質疑応答の中で、大病院を受診した場合の選定療養と受診時定額負担の関係を問われた横倉会長は、「選定療養は療養の給付と直接関係ない。メニューに課す負担で、必ずしも大病院に掛かる必要のない患者に対して、フリーアクセスの乱用を防ぐためのものであるが、受診時定額負担は医療のアクセスを制限し、受診抑制を招くものである」と指摘。また、負担能力のある高齢者に、負担を求めることに

良い医療提供体制を構築することができる」と述べた。

ヒアリング後、当日の議論を踏まえてあいさつを行った安倍総理は、「少子高齢化と同時に、ライフスタイルが多様となる中で、子どもからお年寄りまで全ての世代が安心できる社会保障制度へと改革していく必要がある」との考えを示した上で、「社会保障制度の重要な一翼を担う日本医師会始め医療関係者から頂いた意見をしっかりと踏まえ、年末の中間報告に向けて更に検討を進めて欲しい」と述べた。

同検討会議では、今後有識者からのヒアリングなどを行いながら、議論を続け、年末には中間報告を取りまとめる予定となっている。

### 台風被害による被災医療機関等に対する支援について (お願い)

日医では、台風19号及び21号により被災した医療機関並びに郡市区等医師会を支援するため、全国の医師会及び会員に対し、支援金をお願いすることになりました。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

なお、近年、全国的に災害が増加していることに鑑み、お寄せ頂いた支援金総額と被災医療機関の総数・被災状況等を確認の上、場合によっては、支援金の一部を今後の災害支援に向けた積立とさせていただきます。

**1. 支援金受付**

銀行名：三井住友銀行 神田支店  
口座番号：普通預金 3400773  
口座名：令和元年台風被害支援金  
※手数料は各自ご負担願います。  
※税務上の取り扱いについては「特定公益増進法人に対する寄附金」に該当します。個人の方は寄附金の控除(所得控除か税額控除)、法人(医療法人等)の方は損金算入できます。  
詳しくは、国税庁のホームページもしくは管轄税務署等にお問い合わせ下さい。

**2. 受付期間**  
令和元年12月20日まで  
問い合わせ先：日医経理課 ☎03-3942-6486 (直)

横倉会長、小玉・石川・釜范各常任理事

加藤厚労大臣に

災害対策など3点に関する要望書を提出



負担軽減を認める③地域における情報連携ネットワークの持続的で安定した発展を支援する④基金創設前から存在している事業の予算を十分に確保する⑤地域医療構想調整会議の専門部会等の開催経費を対象に含める⑥都道府県が、地域の実情を的確に反映し、また事業計画を適切に立案できるよう、厚労省より積極的に指導、支援を行うことなど、6点を要望した。

また(3)については、釜范常任理事が原料の問題で供給がでなくなってきたセファンリンなどを例に、「この問題は、国の安全保障にもつながる重大な問題だ」と強調。医薬品の品質確保と安全供給のためにも、①原産国等の情報開示②国内自給の促進③後発医薬品等の安定供給—をお願いしたいと述べた。

もに、地域医療構想の推進に改めて協力を求めた。また(3)に対しては、「(2)指摘はもっともだ」とした上で、「日本医師会等の協力も得ながら、原料の段階から医薬品として使用者に届くまでの全プロセスを把握できるような仕組みをつくっていきたい」と述べた。

セッション1 「人間中心の医療の概念、ワーク・ライフ・バランス及び燃え尽き症候群」をテーマとしたセッション1では、まず、ジョン・メジッチ マウンツサイナイ・アイカーン医科大学精神学教授／ICPCM事務局長が、生命・健康を守る活動の歴史や人間を中心とした医療 (Person Centered Medicine: PCM) の中核的概念等を説明するとともに、人間を中心とした健康と生活を理解する上で、中心的役割を果たすWell-beingの価値を強調した。

横倉義武会長は11月18日小玉弘之・石川広己・釜范敏各常任理事と共に厚生労働省を訪れ、(1)災害対策、(2)地域医療介護総合確保基金の柔軟な運用、(3)抗生物質の安定供給に関する要望書(全文は日医ホームページに掲載)を、加藤勝信厚労大臣に直接手渡し、理解と協力を求めた。

(1)について、石川常任理事は、今年の台風15号及び19号等の被害状況を踏まえ、「災害に対する新たな対応方法を考えなければ、国民を守ることはできない」と指摘。

その上で、「各種補助金を柔軟に活用できるようにすること」「災害時診療概況報告システム(J-SPEED)の整備に対する援助」「他地域へ避難した入院患者を、復旧した避難元病院へ再移送した場合に係る諸費用に災害救助法を適用すること」などを要望するとともに、補助に当たっては、公私による差を付けないようにすることを求めた。

(2)に関しては、小玉常任理事が①医療分について、事業区分間の融通を認める②都道府県の

と述べ、一定の理解を示した他、「医療機関でも自家発電の設備を備える等の対応をお願いしたい」とすると

い「と要望。(2)については、「今後の状況も見ながらできる限りの対応をしたい」とすると

「第7回人間を中心とした医療国際会議」(人間を中心とした医療国際間を)

冒頭のあいさつに立った横倉義武会長(世界医師会(WMA)元会長)は、

「第7回人間を中心とした医療国際会議」(人間を中心とした医療国際間を)

冒頭のあいさつに立った横倉義武会長(世界医師会(WMA)元会長)は、

第7回人間を中心とした医療国際会議 —ワーク・ライフ・バランス：課題とその解決手段—



「第7回人間を中心とした医療国際会議」(人間を中心とした医療国際間を)

冒頭のあいさつに立った横倉義武会長(世界医師会(WMA)元会長)は、

「第7回人間を中心とした医療国際会議」(人間を中心とした医療国際間を)

紹介した上で、疾病分類としての限界があることを指摘した。

セッション2

二つ目のセッションは、「医療専門職における労働時間と働き方改革の国際比較」をテーマとして、まず、ミゲル・シ

セッション3

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

「医療専門職の訓練及びワーク・ライフ・バランスと燃え尽き症候群の予防の推進」をテーマとしたセッション3では、

中嶋義文三井記念病院精神科部長は、日本の医療制度の特徴及び医師・看護師の労働時間等を報告し、働き方改革における時間外労働の上限規制について説明した。

セッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

「Weil-Heinig、医療制度、管理と職業上の安全に関する国際展望」をテーマとしたセッション4

イギリスの国民保健サービス(NHS)における燃え尽き症候群の事例を取り上げたヘレン・ミラーダンディー大学精神科コンサルタント/ICPCM理事は、人員不足と危険な労働環境、いじめ文化、目標重視の姿勢などがスタッフの士気低下を招いているとし、職場において「人間中心」を促進する組織戦略が望まれるとした。

閉会セッション

閉会セッションでは、アップルヤード教授が、「医師の燃え尽き症候群はどの国でも非常に大き

な問題となっており、真剣に取り組むことが極めて重要である。もし、放置したならば患者のケアが損なわれ、医療過誤が増えるため、バーンアウトの問題に積極的に対峙していく必要がある」と

その後、ファン・スターデン教授がICPCM

の文書「2019年ワー

ク・ライフ・バランスと人間を中心とした医療に関する東京宣言」案について説明した。

同宣言は、ICPCM

が人間中心の医療の観点から取りまとめたもので、良好なワーク・ライフ・バランスを達成するため、利害関係者や雇

者等に意識改革と具体的行動を求める12項目の勧告からなり、参加者からWebを通じて意見を募ると説明した。

最後に、メジッチ教授が、本会議の次へのステップとして、「人間中心の医療を更に練り上げるため、例えばテクノロジーの開発に積極的に関与

して適切に活用していくなど、革新的取り組みを進める必要がある」とし、教育プログラムや人間を中心としたケアに関する研究など、各国医師会が協力していく重要性を強調。来年4月には、「セルフケアとWeil-Heinig」をテーマとした会議を開くことを紹介した。

横倉会長

2019年度 中日両国医学交流フォーラムに出席



中日友好病院孫陽院長(右から5人目)

フォーラムに、横倉義武会長が同病院長の孫陽院長の招待を受け出席した。横倉会長は昨年「がん治療の現況と近未来-PCR阻害によるがん免疫療法」と題した基調講演、中国医師会ケケン・ラオ副会長による初めての日医訪問、コロナ禍の現況と今後の参加があった。



雪下國雄氏(元日医常任理事) 市内で執り行われた。喪主は、ご令室、洋子様。氏は昭和9年神奈川県出身。昭和37年順天堂大学医学部卒業。昭和46年2月雪外科医院開設。神奈川県医師会理事を経て、平成12年4月から平成18年3月まで日医常任理事を3期務めた。平成18年に旭日小綬章を受章している。

中日友好病院創立35周年を記念して「日中医療と病院経営」をテーマとして10月18日に中国の北京で開催された「2019年度中日両国医学交流フォーラム」に、横倉義武会長が同病院長の孫陽院長の招待を受け出席した。横倉会長は昨年「がん治療の現況と近未来-PCR阻害によるがん免疫療法」と題した基調講演、中国医師会ケケン・ラオ副会長による初めての日医訪問、コロナ禍の現況と今後の参加があった。

# 世界医師会トビリシ総会開催される



澤倫太郎会長特別補佐・日医総研研部長(WMA医師の倫理委員会アドバイザー)、都道府県医師会、日医ユニアドクターズ・ネットワークより総勢18名が参加した。

総会に先立ち、22日、道永常任理事は、役員会議の他、「遺伝学と医療に関する作業部会」、「医の国際倫理綱領に関する作業部会」に出席した。

25日、総会式典においてレオニード・エイデルマン第69代WMA会長が退任し、ブラシル医師会ミゲル・ジョルジュ理事が第70代WMA会長に就任した。横倉会長は、WMA元会長としてWMA総会への永久参加資格が付与されるとともに「WMA元会長、元議長ネットワーク」のメンバーとなり、星北斗参与の他、

MA理事に就いた。式典では、ジョージア医師会ギア・ロフジャニゼ会長、ジョージア議会イリア・ナカシゼ副議長による歓迎のあいさつが行われた。

26日、総会においてWMA次期会長(2020-2021年)にアメリカ医師会デビット・パーブ元会長が選出された。横倉会長はWMAのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)に関する活動報告を行った(写真上)。

報告では、3年間のWMA会長職における活動に対する各国医師会の支援に謝辞を述べ、WMA会長として、UHCフォーラム2017(2017年12月)への参加、昨年4月のWHOテドロス事務局長との間における「UHCの推進と緊急災害対応の強化」をテーマとした覚書の締結、覚書の実践の場としての「Health Professional Meeting (HPM)」の開催と成果物「UHCと医療専門職に関する東京宣言」を採択したことを概説。また、「国連総会UHCに関するハイレベル会合」へのWMA代表としての出席、同総会のサイドイベントにおける講演、「G20岡山保健大臣会合」におけるWMA前会長としての講演を行ったことを報告した。

宣言」が採択され、これまでの「安楽死に関するWMA宣言」、「医師の支援を受けてなされる自殺に関するWMA声明」はアーカイブされた。

また、トビリシ滞在中に、上原忠春駐ジョージア日本国特命全権大使による夕食会に招待され、懇談を行った。

総会における主な議事内容は以下の通りである。

**(1) 医の倫理関係**

採択文書

- 「性別選択的中絶及び女児産胎に関するWMA声明修正」
- 「WMAレイキャビク宣言：医療における遺伝学の利用に関する倫理的考察修正」
- 「安楽死と医師の支援を受けてなされる自殺に関するWMA宣言」
- 「独房監禁に関するWMA声明修正」

**(2) 社会医学関係**

採択文書

- 「医師主導の職業規範に関するWMAマドリッド宣言修正」
- 「女性と子どものヘルスケアへのアクセスに関するWMA声明修正」
- 「抗微生物薬の耐性に

関するWMA声明修正」

「食事からのナトリウム摂取量の削減に関するWMA声明修正」

「医療における拡張知能に関するWMA声明」

「保護者のいない未成年の庇護希望者の医学的年齢評価に関するWMA声明」

「遊離糖類の消費および加糖飲料に関するWMA声明」

「全ての人のための医療情報に関するWMA声明」

「暴力と健康に関するWMA声明修正」

「二カラグラにおける中絶禁止法に関するWMA緊急決議修正」

「気候非常事態に関するWMA決議」

「オヒオイド使用に関するWHOガイドライン

の取り消しに関するWMA決議」

WMA災害医療に関するネットワーク

星参与が、アジア大洋州医師会連合(CMAA)域内における災害医療ネットワーク構想の進捗状況、台風19号による国内の被災状況及びJMAATの活動を報告した。

**(3) 財務企画関係**

①今後の会議開催日程

2020年：4月ポルト理事会(ポルトガル)、10月コルドバ総会(スペイン)

2021年：4月ソウル理事会(韓国)、10月ロンドン総会(イギリス)

2022年：4月パリ理事会(フランス)、10月ベルリン総会(ドイツ)

2023年：4月ナイロビ理事会(ケニア)、10月キガリ総会(ルワンダ)

②加盟医師会

セイシェル医師会の加盟が承認され、加盟医師会数は113となった。

**(4) 学術集会**

24日には、「緩和ケアの国際基準の実施に向けて」と題して、学術集会が開催された。

冒頭、ザザ・バクアジョージア労働保健社会相、占領地からの国内避難民省副大臣による歓迎あいさつがあった後、緩和ケアの実施のあり方、子どものための緩和ケア、緩和ケアの正しい計画と実施のための教育プログラム、緩和ケアにおける心理的問題などに関する講演が行われた。

世界医師会(WMA)トビリシ総会が、ジョージアのトビリシにおいて、10月23日から26日にかけて開催され、約40医師会及び欧州医師常設委員会等、約220名が参加した。

日本からは、横倉義武会長(WMA前会長)、WMA理事として松原謙二副会長、道永麻里常任理事(WMA理事会副議長)、星北斗参与の他、



澤倫太郎会長特別補佐・日医総研研部長(WMA医師の倫理委員会アドバイザー)、都道府県医師会、日医ユニアドクターズ・ネットワークより総勢18名が参加した。

総会に先立ち、22日、道永常任理事は、役員会議の他、「遺伝学と医療に関する作業部会」、「医の国際倫理綱領に関する作業部会」に出席した。

25日、総会式典においてレオニード・エイデルマン第69代WMA会長が退任し、ブラシル医師会ミゲル・ジョルジュ理事が第70代WMA会長に就任した。横倉会長は、WMA元会長としてWMA総会への永久参加資格が付与されるとともに「WMA元会長、元議長ネットワーク」のメンバーとなり、星北斗参与の他、

MA理事に就いた。式典では、ジョージア医師会ギア・ロフジャニゼ会長、ジョージア議会イリア・ナカシゼ副議長による歓迎のあいさつが行われた。

26日、総会においてWMA次期会長(2020-2021年)にアメリカ医師会デビット・パーブ元会長が選出された。横倉会長はWMAのユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)に関する活動報告を行った(写真上)。

報告では、3年間のWMA会長職における活動に対する各国医師会の支援に謝辞を述べ、WMA会長として、UHCフォーラム2017(2017年12月)への参加、昨年4月のWHOテドロス事務局長との間における「UHCの推進と緊急災害対応の強化」をテーマとした覚書の締結、覚書の実践の場としての「Health Professional Meeting (HPM)」の開催と成果物「UHCと医療専門職に関する東京宣言」を採択したことを概説。また、「国連総会UHCに関するハイレベル会合」へのWMA代表としての出席、同総会のサイドイベントにおける講演、「G20岡山保健大臣会合」におけるWMA前会長としての講演を行ったことを報告した。

宣言」が採択され、これまでの「安楽死に関するWMA宣言」、「医師の支援を受けてなされる自殺に関するWMA声明」はアーカイブされた。

また、トビリシ滞在中に、上原忠春駐ジョージア日本国特命全権大使による夕食会に招待され、懇談を行った。

総会における主な議事内容は以下の通りである。

**(1) 医の倫理関係**

採択文書

- 「性別選択的中絶及び女児産胎に関するWMA声明修正」
- 「WMAレイキャビク宣言：医療における遺伝学の利用に関する倫理的考察修正」
- 「安楽死と医師の支援を受けてなされる自殺に関するWMA宣言」
- 「独房監禁に関するWMA声明修正」

**(2) 社会医学関係**

採択文書

- 「医師主導の職業規範に関するWMAマドリッド宣言修正」
- 「女性と子どものヘルスケアへのアクセスに関するWMA声明修正」
- 「抗微生物薬の耐性に

## 日医君LINEスタンプ できました!

日本医師会キャラクター「日医君」

LINE STORE URL <https://line.me/S/sticker/9183104>

### 今村副会長

## 2019ワールド・アライアンス・フォーラム inサンフランシスコに出席



「2019ワールド・アライアンス・フォーラムinサンフランシスコ」

「Healthcare Game Changers: 新たなトレンドとテクノロジー」をテーマに、「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会を実現する」ために必要不可欠な、技術革新、制度革新、イノベーション・エコシステムに関する課題について議論が行われた。

WAFSFは、2013年以来、再生医療、先端技術の開発、応用、産業化を目指し、同財団が日本政府と共同で主催している。

当フォーラムには、米国・日本を中心に、世界各国の研究者、有識者、関連団体、企業から約270名が参加した。

今村副会長は30日の冒頭、来賓あいさつとして、横倉会長のあいさつを代読した。

その中では、超高齢社会に直面する日本において、一人ひとりが人生100年時代を想定した健康生活を改めて考える必要があるとすることも、ユニバーサルヘルスケアの推進の必要性にも言及した他、本

## 台湾医師節慶祝大会に出席

### 道永常任理事



ら約300名の医師の他、海外来賓として道永常任理事とアメリカ医師会パトリック・ハリス会長が出席した。

台湾医師会邱泰源会長から、11月9日に台北で開催された「第72回台湾医師節慶祝大会」に横倉義武会長が招待を受け、道永麻里常任理事が代理出席した。

同大会は、政治家、革命家、医師であり、台湾において国父と呼ばれる孫文の誕生日(11月12日)を記念して制定された「医師の日」を祝う会である。大会には、台湾全土が

年3月、日医が『日本の医療のグランドデザイン2030』を公表し、2030年の医療のあるべき姿を示したことを説明した。



術の飛躍的な進歩は、治療が難しいとされてきた病気に対する治療の選択肢をもたらしただけでなく、将来病気になる可能性を予測できるようにもなってきたが、その一方で、プライバシーや遺伝子を利用した差別等、より複雑で多様な倫理的・法的・社会的問題が生じることにも留意する必要がある」と指摘。ヒトの健康に関する情報は、究

MAの活動を通じて両国医師会の連携と協力の下、世界中の人々の健康水準の向上に努めていきたいとした。

また、本年3月に日医が公表した、2030年の医療のあるべき姿を描いた『日本の医療のグランドデザイン2030』も、表彰され、蔡總統から記念の盾が贈られた。

陳時中衛生福利部大臣、張博雅監察院院長、立法委員による来賓あいさつに続き、道永常任理事が横倉会長の祝辞を代読した。

そこでは、横倉会長が世界医師会(WMA)の3年間の会長職を無事に終えたことに触れ、台湾医師会の支援に感謝を述べた。

更に、本年4月から邱会長がWMA理事を務めていることに言及し、W

### ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院 武見国際保健プログラムのフェロー募集

武見国際保健プログラムは、1983年に武見太郎元日医会長の構想である「医療資源の開発と配分」に着目したハーバード大学が、同大学公衆衛生大学院に設置した学際的プログラムです。毎年、世界各国より10名程度の中堅の専門家・研究者がフェローとして選考され、国際保健や医療政策に関する研究活動を行っています。プログラム修了後、フェローは世界各国の幅広い分野で活躍しています。

日医では、毎年2名の日本人フェローを選考し、資金援助を行っています。今年も、下記のとおりフェローの募集をいたします(詳細は、日医ホームページ参照)。

- ◆派遣期間: 2020年8月~2021年6月(約11カ月)
- ◆募集定員: 2名まで
- ◆派遣費用: 往復旅費、滞在費の一部を支給
- ◆応募資格: 原則として40歳未満の医師または保健医療分野の研究者(ただし、現在米国に滞在中の方、他の団体等から奨学金を受けている方は応募対象となりません)
- ◆応募書類: 書式は任意です。別紙にある応募書類〔①研究概要兼カバーレター(和・英、各A4判1枚)②研究計画書(和・英、各A4判5枚以内)③英文推薦状3通(推薦者3名)④履歴書(和・英)⑤英文著書、英語論文リスト(主要論文を1、2編添付)⑥英語能力を客観的に証明するもの⑦日本における連絡先(自宅および勤務先、和文)]を応募者が取りまとめ、それぞれPDFにして、E-mailで日医国際課へお送り願いたい。
- ◆応募期限: 2020年1月17日(金)
- ◆選考: 第1次審査〔書類選考(2020年2月)〕、第2次審査〔面接(第1次審査の合格者に対して3月頃に東京で実施予定)〕
- ◆応募・問い合わせ先: 日医国際課  
(E-mail) jmaintl@po.med.or.jp、(TEL) 03-3942-6489、(FAX) 03-3946-6295  
※審査に関するお問い合わせはご遠慮頂きたい。

令和元年

秋の叙勲・褒章受章者

政府は、このたび、令和元年秋の褒章受章者ならびに生存者叙勲・賜杯受章者を発表した。日医会員受章者は次のとおり。(敬称略)

瑞宝重光章

立病院機構神奈川病院 医/山形大学名誉教授 長
吉田浩己(鹿児島大学名誉教授) 稲福 繁(愛知医科大学名誉教授)
河西浩一(香川医科大学名誉教授)
近藤邦夫(元石川県医師会)

瑞宝中綬章

石田常博(群馬県・元国立病院機構高崎病院院長)
高田竹人(北海道・元函館五稜郭病院院長)
長瀬照道(東京都・高月病院院長)
中富昌夫(長崎県・元国立療養所長崎病院院長)
藤野忠彦(神奈川県・元国

旭日小綬章

今村定臣(元日本医師会常任理事)
近藤邦夫(元石川県医師会)
寺下浩彰(和歌山県医師会)
植田清一郎(福岡県・植田病院院長)
小代正隆(元鹿児島県立大

瑞宝小綬章

植田清一郎(福岡県・植田病院院長)
小代正隆(元鹿児島県立大)
島病院院長)
浅野 尚(千葉県・元香取

旭日双光章

坂間 晃(神奈川県・元秦野伊勢原医師会会長)
佐々木優至(埼玉県・元深谷市・大里郡医師会会長)
猿田隆夫(高知県医師会常任理事)
篠原豊明(元山梨県医師会理事)
鈴木孝雄(東京都・元日本橋医師会会長)
高橋克子(元宮城県医師会常任理事)
田口晴也(群馬県・元碓氷安中医師会会長)
武田大威(元分県・元玖珠郡医師会会長)

瑞宝双光章

生野弘道(大阪府・元寺方生野病院院長)
井上憲昭(長野県・元富士見高原病院統括院長)
井上文夫(長崎県・元伊万里有田共立病院院長)
奥原 佐(長野県・元奥原河北公孝(福井県・元福井社会保険病院院長)
野中家久(奈良県・元郡山青藍病院院長)
青地 一郎(愛媛県・元学校村松 弘(静岡県・元学校

藍綬褒章

倉山茂樹(宮崎県・元宮崎若久病院院長)
丸山元孝(埼玉県・元坂戸鶴ヶ島医師会会長)
中澤 仁(愛知県・元せんねん村理事)

紫綬褒章

伊藤貞嘉(東北大学名誉教授)



プリズム
患者の医療安全とともに、医師の安全にも寄与する。加えて、当直医の心細さも軽減される。

災害でも平時でも、IT実感
猛烈な台風が近づく中、web生中継による講演会が予定通り行われた。交通機関は麻痺していたが、ネット回線は機能しており、質疑応答も含めて無事に終了した。通常の形式であったら、開催が危ぶまれたかも知れない。実際にいくつかの研修会は、テレビ会議形式の勉強会として後日に延期されたと聞く。

心が可能である。仕事から完全に解放されるわけではないが、呼び出されて出向くよりもずっと楽である。出勤時の交通事、故のリスクもないため、患者の医療安全とともに、医師の安全にも寄与する。加えて、当直医の心細さも軽減される。

日医はIT化宣言をしており、小生は日医会館とのテレビ会議を時々利用している。地方からでも日医の業務に参加しやすくなり、距離感がぐっと縮まる。もちろんface to faceの意義は大きいので、出向くことを第一としていますが、特有の脆さなど、何かと批判が多いITも使用方次第であり、診療支援とともに働き方改革の一助となると感じている。(骨ノツ)

受章者名の掲載には細心の注意を払っておりますが、万一、お気づきの点がありましたら、日医広報課までお知らせください。

インフルエンザが流行しています!!
日医発行の健康ぷらざ (No.471) 等をご活用頂き、その予防に関する周知にご協力をお願いします。
日医広報課

特別インタビュー

医師会病院で

休日夜間診療を担当して

国光あやの 衆議院議員(茨城6区)／医師



今号では、国会議員でありながら、医師会病院で休日夜間診療も担当されている国光あやの衆議院議員に、休日夜間診療に携わるようになったきっかけなどについて、話をお聞きした。

Q 衆議院議員の活動の傍ら、現在でも、地元の医師会病院で休日夜間診療を担当されているとのことですが、どのようなきっかけで始められたのですか。

地元茨城県は、全国ワースト2位の医師不足県で、医師確保は喫緊の課題です。国政の立場からお力になれるよう取り組みのほは衆議院議員としてもちろんのこと、すべ目の前にある医師不足という危機に「自分自身も何かできないか」と常々思っていました。

「このままでは存続が危ういかも」...とのお声を頂戴し、「地域医療、救急現場のために、自らもお手伝いしたい」との思いから、医師確保対策に政策面から取り組むだけでなく、自らも医師として月に1回当番医をお手伝いしています。

で入られる中、年々医師会の会員数が減っているため、当番医の確保に大変お困りのご様子でした。療時は「症状はもちろん、背景にある生活習慣や地域社会まで想像しながら診させて頂くように心がけており、虐待、うつ、孤立、中毒など、地域の政策課題の発見にもとても役立っています。

「医療政策も政治も」...本は現場にあり」と思いますが、政策も政治も、その問題に関わるさまざまな立場からの意見があり、タフな調整を要する、意思決定の判断に迷う時もあります。そのような時は、必ず現場の声を聴くようにしています。そうすると、自ずと答えが見えてくるという経験が、厚労省時代、そして国政で活動する中でも何度もありました。

Q 先生は、厚生労働省医系技官として政策立案に携わられた経験もありますが、医療現場、厚労省、衆議院議員として活動され、いかがですか。

「医療政策も政治も」...本は現場にあり」と思いますが、政策も政治も、その問題に関わるさまざまな立場からの意見があり、タフな調整を要する、意思決定の判断に迷う時もあります。そのような時は、必ず現場の声を聴くようにしています。そうすると、自ずと答えが見えてくるという経験が、厚労省時代、そして国政で活動する中でも何度もありました。

Q 先生が診療を行う背景になった医師不足・偏在対策を考える中でも、現場経験は役立つということですか。

「人生100年時代」への備えとして、国民年金基金の役割が期待され

めていくかというヒントがたくさんあり、対策にフィードバックできるように心掛けています。

Q 最後に、日医会員の先生方に一言お願いいたします。

「人生100年時代」への備えとして、国民年金基金の役割が期待され

めていくかというヒントがたくさんあり、対策にフィードバックできるように心掛けています。

Q 最後に、日医会員の先生方に一言お願いいたします。



今日も、子どもさんから高齢の方まで、発熱、インフルエンザ、腹痛、動悸... たくさんのお患者

「人生100年時代」への備えとして、国民年金基金の役割が期待され

めていくかというヒントがたくさんあり、対策にフィードバックできるように心掛けています。

「人生100年時代」への備えとして、国民年金基金の役割が期待され

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部 案内

税優遇の適用に必要な社会保険料 控除証明書を発送

本年1月より12月初めに掛金を納付された加入員には、社会保険料控除証明書を送付した。

国民年金基金の掛金は、全額社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が軽減される大きなメリットがあるため、年末調整や確定申告の際には、忘れずに利用して頂きたい。

また、証明書には納付状況や受け取り予定年金額も記載されているので、併せて確認をお願いしたい。

問い合わせは、基金事務局(☎0120-01700650)まで





日本医師会  
キャラクター

# 日医君公式グッズ

ご購入はコチラから  
<https://www.med.or.jp>



日医ではこのほど、日医のキャラクター「日医君」を使った下記グッズを制作し、販売することになりました。日常使いの他、診察室でご利用頂けるグッズもありますので、ぜひ、ご購入頂ければ幸いです。

購入方法等については、日医ホームページをご参照下さい。

なお、グッズの売上の一部は、日医の「災害対策積立資産」に繰り入れし、災害発生の際に活用させて頂く予定としています。

## 日医君ぬいぐるみ(大) ¥6,500(税込)



日医君が大きなぬいぐるみに  
なりました!

おすわり上手♪  
いろんな場所に  
置いて欲しいな!

## 日医君ぬいぐるみ キーホルダー ¥1,350(税込)



チャーム付き

コロンと可愛い  
サイズ感

## 2020年カレンダー ¥1,300(税込) サイズ:42×59.4cm



POINT!

1ヶ月ごとに切り離し  
常に2ヵ月分確認できる  
セバレート仕様!

書き込みやすい  
スケジュール部分!  
日医君オリジナル  
予定シール付

## 日医君オリジナルふせん 各¥550(税込) ふせんサイズ: 約7.5×2.5cm



## クリアファイルDEバッグ 各¥180(税込) バッグサイズ: 25×37cm



POINT!

持ち手を切り離すと  
A4クリアファイルに!

## A4クリアファイル 2枚1組 SET 各¥250(税込) サイズ: 22×31cm

